

タイトル	ことばに立ち止まり、コミュニケーションを育む
名称（学校・地域）	長野県松本ろう学校
日時・場所等	通年の取り組み
ホームページ	<a href="http://www.nagano-c.ed.jp/matsuro">http://www.nagano-c.ed.jp/matsuro</a>

## ことばに立ち止まり、豊かなコミュニケーションを育む学校

### ～校内掲示版の活用と校内情報システムの活用～

松本ろう学校には、補聴器や人工内耳を着けた幼児児童生徒が毎日元気に学習したりいろいろな活動に取り組んだりしています。補聴機器の進歩とともに、社会における「文字情報」の役割も大きく変わってきました。離れた人に伝える最速の文字情報が「FAX」だった時代から、スマホ等のメールでその時その場で伝えられることができるようになりました。また、駅や公共施設での「案内放送」が聞きとれなかった時代から、電光掲示板等の文字情報が当たり前の中になってきています、そのような時代の変化の中、流れる情報を目で確かめ、必要な情報をことばで理解し、自分の行動に活かしていくためには、「ことばに立ち止まる」経験を積み重ね、見たことをことばで理解していく力が必要になります。そのため、松本ろう学校では、次のような取り組みを続けています。

#### ① 自立活動掲示版の利用

自立活動係を中心に、中央廊下に「季節の話題」「時事ニュース」「ことばあそび」など月替わりで貼りだしています。子どもの実態に合わせた「手作り」の掲示に、立ち止まって「これってさあ…」と友達と話したり、掲示に関係したことを「そういえば…」と話したりする姿が見られます。紙をめくると解答が現れたり、「続きは来週掲示します」とちょっと時間を置くことでじっくり考えたりと、「手作り掲示」の良さが、子どもたちの好奇心と探求心を掻き立てています。

#### ② 校内情報システムの活用

校内の廊下や教室に設置された「テレビモニター」には、毎朝、いろいろな情報が流されます。その日の行事や予定はもちろん、「今日は何の日」等その日にまつわる雑学が流されたり、「各部で頑張っている事」の紹介が配信されたりしています。「聞こえにくい」ことは、情報の入りにくさを伴います。しかし、いろいろな情報を知り、身近な人とやりとりする経験から、流れる情報に対して積極的になることはもちろん、「先生、今度みんなで考えた〇〇を全校にお知らせしたい」と、発信することを楽しむ子どもたちが増えてきています。

